

N.野崎造園新聞

2013. 4月号 第65号
発行所 株式会社 野崎造園(本社)
〒203-0044 東京都東久留米市柳窪 4-14-22
tel 042-471-4635(代) fax 042-471-4856
e-mail n-mukoyama@nozaki-zoen.co.jp

練馬営業所
Tel/Fax 03-5927-0339
練馬区関町北 4-16-24-101

さいたま営業所
Tel/Fax 048-851-6418
さいたま市桜区
下大久保 1127-1-204

～今月の花木～



シモクレン 紫木蓮

モクレン科・落葉小高木・中国原産

春に咲くモクレン科のコブシやハクモクレンよりも後から咲く。花びらは6枚。紫色の花からシモクレンともいうが、一般にモクレンとは本種を指す。



植栽管理の計画と実施

新年度となり、目標や抱負を立てたり、お正月に立てたものをもう一度誓いなおしたりするのは、いい時節柄になりました。

職場や管理組合などで、植栽管理の役目を新たに担う方、また、継続して担われている方に於かれましても、この先1年間の植栽管理の計画や実施について、思いを巡らせることもあるかと思えます。簡単ではありますが、植栽管理について、紹介いたします。

◆植栽管理とは：
生き物である植物を管理するが故、植物の生育特性に合わせた管理が重要です。と、書くこと難しそうですが、植物のライフサイクルは、ほぼ決まっているため、やる事は大体決まっています。
植栽管理作業のポイントと年間作業スケジュールを下段と裏面に記しましたので、参考にしてください。ただれば幸いです。

防災・減災

台風に限らず、ここ数年強風や大雨、大雪などによる気象災害が多い気がします。植栽は特に強風や大雪の際に、倒木及び幹や枝折れの被害がよく発生します。

被害を完全に防ぐことは不可能ですが、あらかじめ軽減することは可能です。樹木を剪定することで、混み過ぎた枝を減らし風を受け流すことは、倒木や枝折れのリスクを軽減できます。また、幹が腐っていて倒木の危険性がある樹木は予め伐採する、枯枝は取り除いておく事など予防措置を講じる事により、事前に大きな被害を防ぐことができます。

防災・減災の観点からも、植栽を定期的に点検し管理作業をしておくことで、被害を最小限に抑える事が可能です。



病虫害防除

寒い時期はあまり気になりませんが、気候が暖くなるにつれ、植物に関する害虫や病気の被害が目につくようになります。ツバキやサザンカにつくチャドクガ(5月頃と9月頃)、サクラ類によく発生するモンククロシャチホコ(8月～9月頃)など、毎年ある程度決まった樹種、時期に発生するものは、発生初期に防除(消毒等)をすることで、被害を押さえることができます。

病虫害防除では、薬剤散布が安価でかつ、効果的ですが、薬剤の使用をしたくない、出来ない場合などは、害虫や病気に侵された部分を切除し補殺するなどして、被害を軽減することも可能です。

いずれにしても、早期発見、早期対応が大切です。



景観の維持・向上

建物まわりから、街路樹、公園にいたるまで、植栽地が小奇麗に見えることは、そこに集う人、通る人、生活する人の気持ちを安心・快適にします。

常に全ての場所に植栽管理が行き届いていることは理想ですが、費用や手間と時間の観点から難しいと考えられる場合もあります。その場合は、優先順位を考えます。植栽地のなかでも、人目に多くつき、かつ、利用の多いところでは、剪定や芝刈り、草刈りの回数を多くし、あまり人目につかないところでは管理作業の回数を減らし、安全上必要な作業にとどめるなどメリハリをつけコストを抑える事も出来ます。

植栽管理は、ある程度計画立てをし、実施することが、ポイントです。



植栽管理年間作業スケジュール

作業時期は一般的な目安です。植栽の種類により変わる場合があるので詳しくはお問い合わせ下さい。

←→ 最適期

←...→ 多少よい時期

作業内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
樹木管理												
常緑樹剪定			←→				←→			←...→		
落葉樹剪定	花木は花後直後がよいものが多い(樹種による)						←→					
針葉樹剪定	←→					←→			←...→			
低木(生垣)刈込	花木は花後直後がよいものが多い(樹種による)						花木は軽めにしないと翌春の花が楽しめなくなる					
低木地除草		←→				←→						
施肥	春の芽だし肥や花後のお礼肥(速効性肥料)						寒肥は特に有効(遅効性肥料)					
病虫害防除	チャドクガ(ツバキ類)注意			サクラ、ツバキ類注意			冬季の石灰硫黄合剤散布は有効だが臭い					
マツ手入れ		みどり摘み				もみ上げ(古葉落とし)、剪定						
マツ薬剤注入							マツ枯れ予防剤注入は冬期に施工					
芝生管理(日本芝)	※主に野芝と高麗芝											
芝刈り		月1回		月2回		月1回(10月で刈り止め)						
除草剤散布						冬雑草発芽前					夏雑草発芽前	
施肥	月1回程度											
手取り除草	←→	←→	←→							冬雑草は目立つので取りやすい		
芝張り(補植含む)	←...→											←
裸地・そのた管理												
草刈り・除草		←→ 最低年3回は行いたい										
落葉清掃							←→					

植栽管理の計画と実施

上の表に基づく管理をしていれば、年間を通じて概ね良好な植栽管理ができます。しかし規模や費用の問題で全箇所、全回数の実施が出来ない場合には、優先順位を考えて、内容を調整します。

高木の剪定は年に1回は出来るとよいのですが、2~3年に1回程度でも大丈夫な場合もあります。低木や生垣の刈込は比較的目につきやすい箇所であるため、例えばよく植えられているツツジ類の花後の6月~7月に1回目、あとは夏を越して冬に入る前に2回目を刈込しておけば、春まで刈込まれた状態が維持できます。

剪定時期は樹種により合わせるのが理想ですが、実際にはエリア毎に剪定範囲を決めることが多いようです。不明点をご相談下さい。

みどりのカーテン計画はお早めに!

昨年度も設置依頼を頂きましたが、5月の連休ごろから、ゴーヤやヘチマの苗が出回ります。

もし、今年度みどりのカーテンの設置計画がありましたら、早めに設置場所の確認と苗の調達準備をすすめて下さい。できれば5月中に植えたいものです。

